

# SO-04Fの基本操作を覚える

SO-04Fのディスプレイはタッチスクリーンです。指でディスプレイをタッチすることで、いろいろな操作が行えます。また、本体下部にある3種類のキーアイコンの使いかたも覚えましょう。



## 1 キーアイコンの操作




バック

ホーム

最近使用したアプリ




### MEMO キーアイコンとは

SO-04Fの本体下部にある3つのアイコンのことをキーアイコンといいます。キーアイコンは、基本的にすべてのアプリで共通する機能を提供します。

また、一部の画面ではキーアイコンの右側か画面右上にオプションメニューアイコン  が表示されます。オプションメニューアイコンをタップすると、アプリごとに固有のオプションメニューが利用できます。



#### キーアイコンとその主な機能

 バック	直前に操作していた画面に戻ります。
 ホーム	ホーム画面が表示されます。左右のホーム画面を表示している場合は、一番左のホーム画面に戻ります。
 最近使用したアプリ	最近操作したアプリのサムネイルのリストとスモールアプリが表示されます。サムネイルのリストからアプリの起動や終了ができます。

## ■ タッチスクリーンの操作

### タップ/ダブルタップ

タッチスクリーンに軽く触れてすぐに指を離すことを「タップ」、同操作を2回繰り返すことを「ダブルタップ」といいます。



### ロングタッチ

アイコンやメニューなどに長く触れた状態を保つことを「ロングタッチ」といいます。



### ピンチ

2本の指をタッチスクリーンに触れたまま指を開くことを「ピンチアウト」、閉じることを「ピンチイン」といいます。



### スクロール

画面内に表示しきれない場合など、タッチスクリーンに軽く触れたまま特定の方向へなぞることを「スクロール」といいます。



### フリック (スワイプ)

タッチスクリーン上を指ではらうように操作することを「フリック」といいます。



### ドラッグ

アイコンやバーに触れたまま、特定の位置までなぞって指を離すことを「ドラッグ」といいます。



# ホーム画面の使いかた

タッチスクリーンの基本的な操作方法を理解したら、次はホーム画面の見かたや使いかたを覚えましょう。本書ではホームアプリを「docomo LIVE UX」に設定した状態で解説を行っています。



## 1 ホーム画面の見かた

**ステータスバー**  
ステータスアイコンや通知アイコンが表示されます (P.16～17参照)。

**Google検索**  
本体内やWebページを検索することができます (P.139参照)。

**ウィジェット**  
アプリが取得した情報を表示したり、設定のオン/オフを切り替えられます (P.20参照)。

**フォルダ**  
ショートカットを1箇所にまとめることができます。

**アプリアイコン**  
<dメニュー>などのアプリアイコンが表示されます。

**アプリボタン**  
タップすると、アプリ画面を表示します (P.18参照)。

**マイマガジン**  
タップすると、ユーザーが選んだジャンルの記事を表示する検索サービス「マイマガジン」を利用できます。

## 2 ホーム画面を左右に切り替える

- 1 ホーム画面は左右に切り替えることができます。まずはホーム画面を左方向にフリックします。
- 3 ホーム画面を右方向にフリックすると元に戻ります。



- 2 ホーム画面が右画面に切り替わりません。



- 4 初期状態では、全部で4画面の切り替えが可能です。

